

令和6年度 大学生生活説明会及びアンケートであった質問と回答の概要

質問（環境科学コース）：転コースはどのようにしているのか手続きを知りたい。

回答：コースによっては、転コースに必要な科目があります。その科目を取ってから希望を出して下さい。

新入生学科・コースガイダンスで詳細を聞いてもらうよう学生に伝えて下さい。

質問：専修免許状を取るとよいことは何でしょうか。

回答：中学・高校などで管理職になるための必要条件です。大学院で取得可能です。

質問：後期課程への進学者はどれくらいいるのでしょうか。

回答：理学系では、10名定員で本年度は8人です。また、後期課程進学者には経済的なサポートが充実してきています。

質問（生物科学コース）：高校では基礎生物のみを学んだだけであり、物理と化学選択で受験しており、問題無いありませんか。

回答：生物科学コースでは、物理と化学での受験者は結構います。高校で生物学を学ばなかった学生を考慮した講義を行っており、問題はありません。生物でも基礎となる物理と化学は必要なので問題ありません。

質問：大学院の推薦入試について、学部の成績で推薦が決まるのでしょうか。

回答：推薦に対応するものとして、6年一貫教育プログラム選抜試験及び推薦選抜試験（数物科学科のみ）があります。

6年一貫教育プログラムに採用されるには、3回生までの成績が考慮されます。

推薦選抜試験に対して、数学系では研究室配属した4回生の研究の様子を見て推薦をいたします。物理学系では3回生までの成績が考慮されます。（数物連携コースでは研究室は数学系と物理学系に分かれます。）

質問：就職に関し、企業からの推薦はどのくらいなのでしょう。同じ企業でしたら、学部生より院生が優先されるのでしょうか。

回答：企業から来る学科及びコースへの推薦枠数は、就職希望者数より、かなり多くの枠数が来ています。学部生より院生が優先されるのかは、各コースで運用が多少異なるかと思いますが、基本、院生が優先されます。ただ、枠を超えた場合などは、各コースの就職担当教員が企業へ枠数の増加の交渉を行っています。

アンケートでの質問：高専からの3年次編入になります。高専での履修単位はどれだけ認められるのでしょうか。

回答：3年次編入では、編入前に修得した科目の内62単位までを、本学の科目に対応させて科目認定を行います。

その際に、高校の科目と考えられるものは科目認定されません。また、内容的に本学で開講しているものが無いものは科目認定されません。

従って、上限の62単位まで達しない場合もあります。

アンケートでの質問：数物科学科の数学コースで、理科の教員免許はとれますか。数物連携コースは、数学と理科の教員免許はとれますか。

回答：教職科目はどのコースにいても同じです。数物科学科の学生用に、数物科学科の専門科目の中に数学や理科の教科科目に定められたものがあります。その中から所定の単位数を修得すれば、数学コースの学生が理科の教員免許を取得することも、数物連携コースの学生が、数学と理科の教員免許を取得することも可能です。

アンケートでの質問（数物科学科）：教員免許について、1年目は希望して履修するが2年目には、10人から3人くらいに減ると聞いています。なぜ減るのでしょうか。免許取得したいと希望する学生がたくさんいるのに、あきらめる原因の対策を検討していただきたいと願います。

回答：1年生では教職科目が1科目ですが、2年生ではかなり増えてしまいます。そのために、途中であきらめてしまうことがあります。また、学科・コースによって、人数と状況は大きく異なっています。実験科目の多いところでは教員免許用の教職科目と教科科目を取るには、時間的に学生の頑張りが必要となってきます。